

# 再生エネルギー社会に向けた検討、課題

2020.11.14  
小暮

再生可能エネルギー (佐野市) \*\* 資源エネルギー庁 データ\*\*

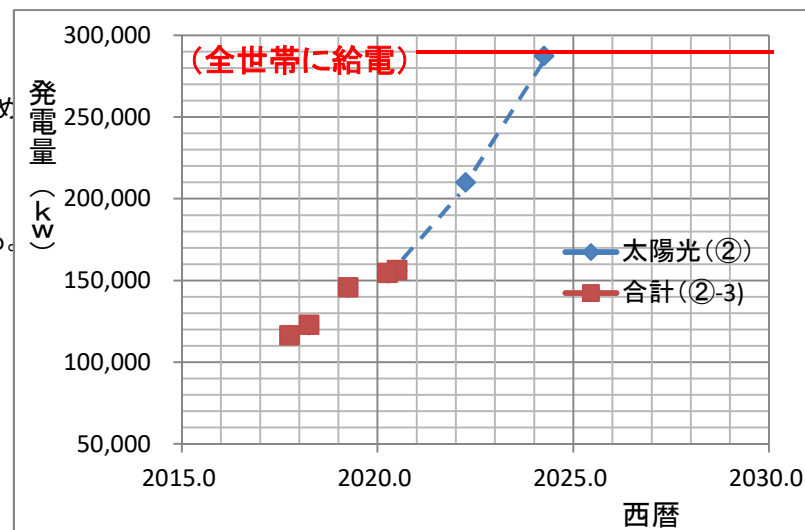
西暦	月	西暦	②-1 新規認定分 導入量(kw)			②-3 合計(②-3)	②-2 移行認定分 導入量(kw)			合計	④ 新規認定分 認定容量(kw)			合計
			10kw未満	10kw以上	太陽光(②)		10kw未満	10kw以上	太陽光		10kw未満	10kw以上	太陽光	
2025	3	2025.3												
2024	3	2024.3			287,393									
2023	3	2023.3												
2022	3	2022.3			209,923									
2021	3	2021.3												
2020	6	2020.5	12,646	143,367	156,013	156,266	6,932	595	7,527	32,402	13,028	279,018	279,018	294,301
2020	3	2020.3	12,498	141,778	154,276	154,526	6,930	595	7,525	32,401	12,760	279,164	291,924	294,187
2019	3	2019.3	11,087	134,476	145,563	145,813	6,936	595	7,531	32,407	11,462	282,214	293,676	295,939
2018	3	2018.3	9,825	112,732	122,557	122,807	6,923	595	7,518	26,644	10,345	266,071	276,416	328,134
2017	9	2017.8	9,149	107,311	116,460	116,309					9,880	265,594	275,474	378,442

## (佐野市民、役所、企業から考えた再生エネルギー社会の状況検討)

- 太陽光発電Pと発電量WHとの関係から、佐野市民に必要な太陽光発電パネルの大きさを求め  
 1 (kw)の発電パネルは、1,000~1,200 (kwh/年) の発電量と見なされてる。  
 ( 1月の発電量は、83~100 (kwh/月) ∴ WH= 83 )  
 よって、佐野市民を太陽光で賄うための、パネルの容量  $P(kw) = 52,000 * 463.9 / 83$  となり、  
 おおよそ、 $P(kw) = \#DIV/0!$  となる。残り、134,000 kw (46%) が必要となる。
- 今後の太陽光発電の予想 (Mw)
 

① 寺久保町 (クラシックゴルフ場)	2022年3月 ?	53.91
② 会沢町	2024年3月 ?	35.87
③ 多田町	2024年3月 ?	41.6

これより、2024年頃には、太陽光発電量が全佐野市民世帯の給電量になると思われる。



3. 佐野市役所の地球温暖化状況

項目	令和元年度実績			目標値(令和3年度)			目標達成率	
		温暖効果ガス排出量 (t-co2) 構成比(%)			温暖効果ガス排出量 (t-co2) 構成比(%)		(CO2排出量) (%)	(実績量) (%)
電気使用量 (kwh)	32,377,192	8,556	25	30,602,122	13,576	39.2	158.7	94.5
燃料使用量 油 (l)	1,185,145	2,942	9	1,300,164	3,252	9.4	110.5	109.7
燃料使用量 ガス(l)	458,935	959	3	357,892	698	2.0	72.8	78.0
自動車走行量 (km)	3,470,735	30	0	4,145,998	33	0.1	110.0	119.5
廃棄物焼却量 (t)	37,774	19,660	59	33,518	17,053	49.3	86.7	88.7
汚水処理量 (m3)	18,394,260	1,282	4			0.0		
		33,429	100		34,612	100	103.5	

(今後の取組み) ?

- ① バイオマス発電の検討
- ② 焼却炉発電システムの検討
- ③ 吸収式冷暖房設備の検討
- ④ 学校施設の再生エネルギーと蓄電システムの検討
- ⑤ CO2回収システムの検討 (CO2回収費 7,000円/t : 19,660t \* 7,000 円/t =138M¥)

4. 佐野市事業者の脱炭素への推進

(今後の取組み) ?

- ① 事業者のエネルギー消費状況と脱炭素推進状況の把握
- ② 2050年に向けた把握の推進